

# はじめに

漢字の力をつけるには、一字一字の漢字をしっかり正確に覚え、それをくり返し練習していくことが必要です。でもこのように言つと、何だか大変そうだと思う人がいるかもしれません。

この漢字ガイドダンスは従来のドリル形式とは異なり、

●マンガでその漢字の急所をズバリ指摘しました。

●関連事項や、興味深い情報をふんだんに記載しました。

などの工夫により、学習意欲がわき、おもしろく楽しく学べるように構成してあります。常に持ち歩いて、くり返し学習しましょう。

## 本書の使い方

### ❖ 2～21ページ

・5年生の漢字(1)～(5)……5年生で習った全ての漢字の復習ができます。

### ❖ 22～101ページ

六年生配当の191字を、その意味や使われ方にしたがってグループ分けし、9～10字ずつ20回で学習するようになっていきます。

1回分の構成は次のとおりです。

・一覽表……それぞれの漢字の、部首・画数・読み・書き順・使い方の一覧です。練習欄で実際に書いて覚えましょう。なお、( )の読みは小学校で学習しない読みです。

・読みとりの練習  
一覽表で示した使い方方の練習です。読みとりの練習と書きとりの練習で、おたがいに答え合わせをします。書きとりテストの

・書きとりテスト  
答えは、106・107ページにあります。

### ❖ 102～105ページ

・実力問題・漢字クイズ……漢字をしっかりと覚えられているか、確かめてみましょう。クイズは楽しみながら解いてください。答えは108ページにあります。

### ❖ 106・107ページ

・書きとりテスト解答……各回4ページ目の書きとりテストの解答です。

### ❖ 108ページ

・実力問題・漢字クイズ解答……102～105ページの解答です。

### ❖ 109～111ページ

・音訓索引……調べたい漢字がどこにのっているのか知りたいときに使います。音読みからも訓読みからも引くことができます。

### ❖ 最後のページ

・部首一覽表……小学校で学習する全ての部首の一覧です。



# 読みとりの練習

できたところに  
色をぬろう。

16~20問

だいへんよく  
できました。

10~15問

ちゆうすこです。

1~9問

がんばりましょう。

◎ 部の読みがなを書きましよう。(答え/24ページ)

- (1) 高名な画家の遺作。
- (2) 我先に、バスに乗ろうとする。
- (3) 無料でサービスを提供する。
- (4) 新しい党が政権をにぎった。
- (5) 自己主張が強い性格。
- (6) 皇后陛下がご覧になる。
- (7) 天皇は国の象徴だ。
- (8) 父の後ろ姿を見送る。
- (9) この山は私有地だ。
- (10) 十万人の観衆が見守る。
- (11) この時計は父の遺品だ。
- (12) 母の声で我に返った。
- (13) 食べ物を提供する。
- (14) 権利を行使する。
- (15) 利己的な人とは友達になれない。
- (16) 皇太后にお会いする。
- (17) 皇室の方々が集まる。
- (18) いつも姿勢を正しくする。
- (19) 私情を交えずことにあたる。
- (20) 民衆の声を代表する。

ろ

- (6) (16) (17) **豆知識**  
 皇后Ⅱ天皇の妻。  
 皇太后Ⅱ天皇の母。  
 皇室Ⅱ天皇とその一族。
- (10) **使い分ける**  
 観衆Ⅱ大勢の見物人。  
 観客。  
 慣習Ⅱ古くから行われて  
 いるならわし。

- (11) **意味**  
 遺品Ⅱ死んだ人が使っ  
 ていた品物。

- (12) **意味**  
 我に返るⅡ①気を失っ  
 ていたのが意識を取り  
 戻すこと。②他に気を  
 取られていたのが自分  
 にもどること。

- (13) **反対の言葉**  
 供給⇔需要

- (15) **意味**  
 利己的Ⅱ自分だけに都合よく考えること。

# 書きとりの練習

できたところの色をぬろう。

16~20問

たいへんよくできました。

10~15問

もうすごいです。

1~9問

がんばりました。

◎ 部を漢字に書きかえましょう。

(答え/23ページ)

練習しよう

- (1) 高名な画家のいさく。
- (2) われさきに、バスに乗ろうとする。
- (3) 無料でサービスをていきようする。
- (4) 新しい党がせいけんをにぎった。
- (5) じこ主張が強い性格。
- (6) こうごう陛下がご覧になる。
- (7) てんのうは国の象徴だ。
- (8) 父のうしろすがたを見送る。
- (9) この山はしゆうちだ。
- (10) 十万人のかんしゆうが見守る。
- (11) この時計は父のいひんだ。
- (12) 母の声でわれに返った。
- (13) 食べ物を書きようきゆうする。
- (14) けんりを行使する。
- (15) りこてきな人とは友達になれない。
- (16) こうたいごうにお会いする。
- (17) こうしつの方々が集まる。
- (18) いつもしせいを正しくする。
- (19) しじょうを交えずことにあたる。
- (20) みんしゆうの声を代表する。

ろ


